

💡特に良いと思う点

- **利用者に関する一人ひとりの基礎資料は個人別にファイルして整えており、個別支援計画の策定や日中の支援など様々に活用しています**
個人別ファイルには面接の記録に始まり、実技の評価票や契約関係の書類、災害発生時対応票、生活マップ、通所開始時の健康診断書、定期健診、個別支援計画、ケース記録、ケース会議記録等、利用情報を一元的に綴り活用しています。個別支援計画は法人共通書式で、本人希望や夢を聞き取り、実現のために、目標(長期支援目標)を設定します。そして、具体的な今年度の目標を決めて、どう取り組むかを盛り込みます。定期的に個人面談を実施し、利用者の状況に新たな変化や問題が明確となった場合には、法人全体で検討し、関係機関からも情報を得ます。
- **理念の実現を目標達成に変えて、利用者が楽しく目標を持てる作業のやり方や工夫を凝らすことで、意欲的に取り組めるようにしています**
理念でもある「生き生きと働ける職場」を実践するために、どうすれば利用者が楽しく、やりがいを持って能力が発揮できるか検討し、取り組んでいます。利用者の中には数を数えるのが苦手な方や、絵やイラストで伝えた方が理解できる方等がいるため、事業所では利用者毎に配慮した小さな工夫を積み重ねています。また、目標を達する喜びを感じて欲しいと考え「お弁当年間個数表」を休憩室の壁に貼っているため、自然な形で利用者の意識向上に繋がっています。弁当製造数の進捗状況を折れ線グラフで示し、利用者が理解しやすい様に取り組んでいます。
- **毎日夕方、法人内の事業所が集まってミーティングを持ち、それぞれの事業所の課題を共有し克服できるよう話し合いをします**
支援の困難ケースを始めとして問題が発生した場合には、法人の職員ミーティングで報告し検討しています。このミーティングは毎日夕方行われており、近隣の4事業所の施設長と常勤職員が出席しています。主に事業運営に関する情報共有や、課題を共有化することが中心ですが、時には利用者支援について話し合っています。法人内に相談支援事業所があるため、事業所単独では方向性の見えない支援でも、利用者を中心に据えたカンファレンスの提案や、実施に向けた手段や方法を検討する機会があります。これにより、利用者への適切な支援に繋がります。

✓さらなる改善が望まれる点

- **事業収益の増加、就労支援の充実、利用者確保をとにもたらす組織的な能力のより一層の向上が望まれます**
新規利用者確保と育成が課題となっています。利用者が働いて賃金を得ながら職業指導を受けて一般就労を目指すという利点を生かし、ステップアップを望む多くの利用者を獲得できる体制の強化が望まれます。利用者を育成する体系的な仕組みにより、利用者の適性を見極めからスキルアップ、就労に向けた指導を、より一層有効に行えるための組織的な取り組みが望まれます。また、事業管理、経営・販売戦略、人材育成スキル、財務管理などの観点から管理職に対するより一層のスキルアップを図り、事業の安定化と拡大に繋げることが望まれます。
- **地域への啓発活動及び地域貢献活動について、今後も継続した地域との関わりを深める取り組みの検討・実施が期待されます**
利用者が安心して希望の持てる生活を営めることを目指しています。それには、地域との良好な関係性を維持していくことが欠かせません。現状では利用者は近隣の清掃、職員は商店街のお祭り手伝い等の地域貢献活動を行っています。また、事業所では地域の福祉関係連絡会に参加し、利用者支援のあり方や課題を話し合っていますが、地域への啓発活動を引き続き進めていく必要があることを課題としています。今後も地域貢献活動を通じて、地域から事業所への理解と協力がより一層得られるよう、地域との関わりを深める取り組みの検討・実行が期待されます。
- **職員の気づく力を強化し、ヒヤリハットを出しやすくするための工夫が求められます**
危機管理ツールとしての堅苦しさを簡素化した法人統一書式のヒヤリハットは気づきのレポートです。1件ずつの原因や対策、考察よりも気づいたことを優先して、記入する書式にしています。職員各々が出したヒヤリハットをできるだけ大量に集めることに主眼がおかれているものの、ヒヤリハットの書き出しが全くない月もあります。職員の気づく力によって収集した情報を分析して、初めて問題点が洗い出されてきます。同じような事例があれば、何らかの安全策等を講じる必要を教えてください。ヒヤリハットがたくさん集まるよう工夫が求められます。